

1. 検討手順

1.1 震後対応能力の向上方策 検討フロー

道路管理者の震後対応能力の向上方策について、図 1-1 に示すフローに従い検討した。フロー各項目の概要は次の通りである。

(1) 三陸南地震・宮城県北部地震の概要

内閣府記者発表資料等をもとに震後対応を時系列整理した。

(2) 近年の地震における震後対応の課題・教訓の整理

震後対応を実際に行った職員に対して行われたヒアリング調査結果をもとに、対応上の課題をとりまとめた。

(3) 既往大災害の教訓等のレビュー

① 阪神・淡路大震災の教訓

規模が大きい災害ほど震後対応の課題が顕著に現れると考え、阪神・淡路大震災に見る対応上の課題・教訓を整理した。

② 道路震災対策便覧記載内容に基づくヒアリング

道路管理者の震後対応について総括的に書かれている道路震災対策便覧の記載事項をもとに、実務上の実態から課題を抽出した。

(4) 想定城県沖地震を対象とした被害想定を作成

① 地震動の推定

地震調査研究推進本部での検討結果を基本に、より広範囲への影響を推定するために、経験的手法によって想定宮城県沖地震の地震動を推定した。

② 施設の被災度評価

推定された地震動により生じることが想定される直轄国道上の被害を、橋梁・盛土を対象に推定した。

(5) 被害想定に基づく課題の抽出

① 被害想定に基づく対応シナリオからの課題抽出

(4) の検討で得られた被害想定を基に、震後対応を机上でシミュレーションし、想定される課題を抽出した。

② 一般シナリオからの課題抽出

①だけでは設定できない対応状況について一般的なシナリオを設定した上で、課題を抽出した。

(6) 想定宮城県沖地震での対応において考えられる課題のまとめ

(2)、(3) および (5) の検討結果をとりまとめた。

(7) 危機管理能力向上方策の検討

抽出された課題をもとに危機管理能力の向上方策を検討した。

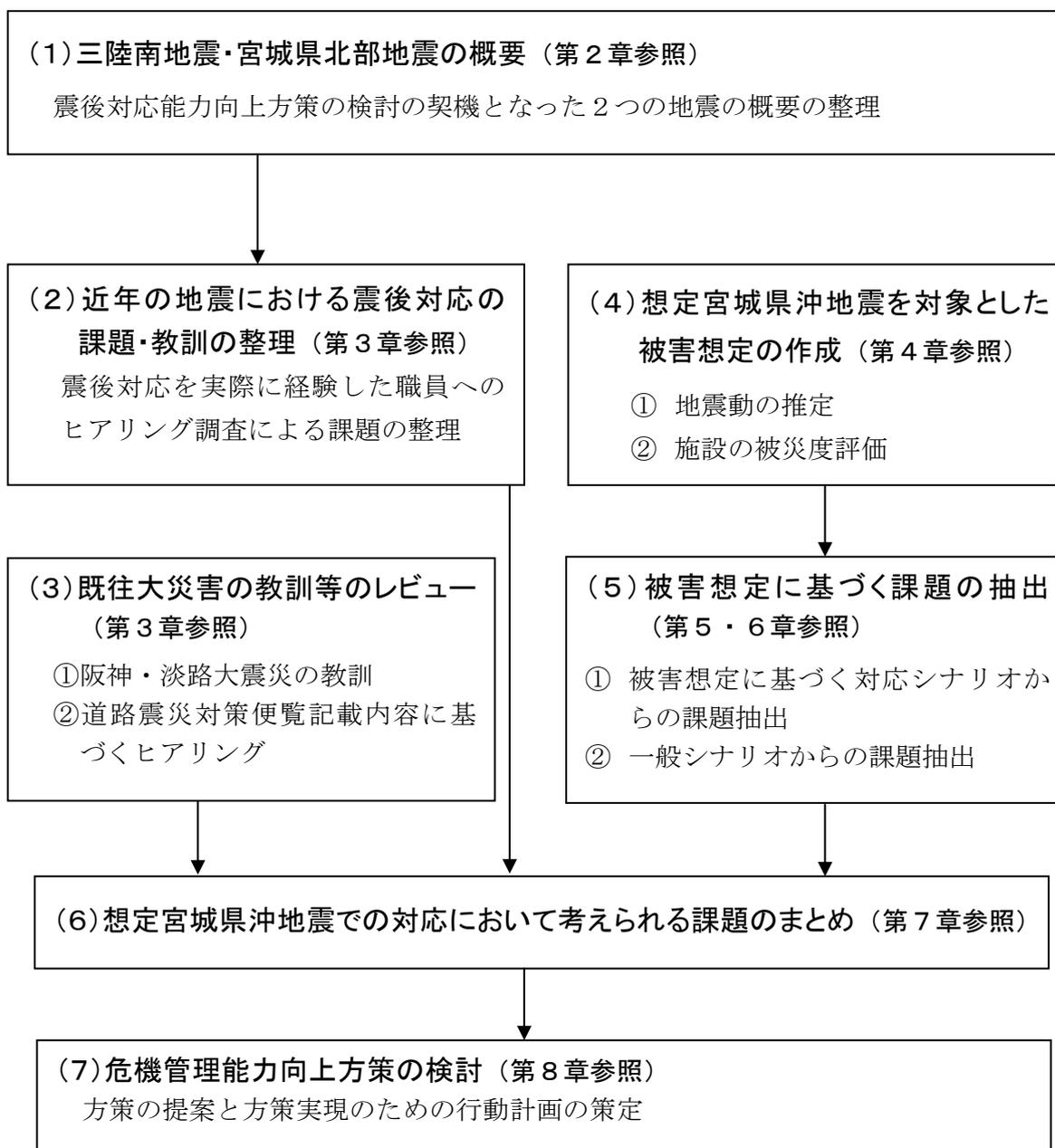


図 1-1 危機管理能力の向上方策 検討フロー